

「よかった探し」

Jeon Ahnna

皆さんこんにちは。ジョンアンナと申します。今日は「私にとっての2020」について発表をさせていただきます。今年は前例がなかったコロナウイルス感染拡大の状況下で、世界的に大変辛い時期でした。

コロナウイルスによって、4月に緊急事態宣言が下され、知り合いのいない外国生活でどこにも行けず、一人で寮に閉じこもって過ごし、本当に大変でした。その時思い出したのが「よかった探し」です。「よかった探し」とは、私が幼い頃読んで感銘を受けた小説「ポリアンナ」の出来事で、この小説は日本でアニメ化されて放映された「愛少女ポリアンナ」の原作です。主人公ポリアンナは幼い時両親を亡くして、親戚の家を転々とする苦難の状況に置かれますが、父が教えてくれた「よかった探し」をして逆境を生き抜いていく明るくてポジティブな少女です。「よかった探し」とはどんなことが起きてもその中からよかったと思えることを探し出して、明るく振る舞うようにするためのゲームです。それで私は、ポリアンナのようにコロナによって逆によかった点を探してみることにしました。

まず1つ目、料理の実力が伸びました。元々は簡単に食べられる料理が作れる腕前でしたが、コロナで家にいる時間が長くなって自然に料理の実力が上がり、今はいわゆる「食べた人の胃袋を掴む」ほどになったと自負しています。2つ目、旅行の費用が安くなり、便利になりました。実施まで紆余曲折あったGoToトラベルでしたが、実際に活用してみるととても良い制度だと思いました。そして元々、日本は観光大国でどこに行っても外国人があまりにも多く、ここが日本なのか分からない状態でしたが、現在は外国人の入国が自由にできなくなり、どこに行っても日本らしさを楽しむことができます。少し補足すると、私は決して外国人に排他的なのではなく、発想を転換してこのような点が良かったということをお願いだけです。どうか誤解しないでください。3つ目、平凡で日常的なものの大切さを知るきっかけになりました。家族、友達、健康、マスクをしないで気楽に人に会って楽しんだ日々が当たり前ではないと感じ、いま自分に与えられているものに感謝して、大事にしようという気持ちになりました。

コロナで皆が苦しいことが多い2020年だったと思います。この瞬間もウイルスに感染して苦しんでいる方々のことを考えると、心が痛みます。しかし、うつむいてため息をつくことはひとまず先延ばしにして、今この中でも逆に「よかった探し」をしながら、今こそできることを見つけて前を向いて皆で進んで行きましょう。ご清聴ありがとうございました。